

人吉市 復興まちづくり懇談会 説明資料

令和4年3月25日

熊本県土木部河川港湾局
河川課

令和3年12月22日 事業計画検討会

令和4年 2月中旬 権利者戸別訪問

令和4年 2月15日 復興まちづくり座談会

本日 復興まちづくり懇談会

検討の仕方についてのご意見

○人吉で亡くなった方は、山田川の氾濫によるものである。それが、まちづくりに全然反映されていない。どのように氾濫したのかという解析をしていないまま、対策が出されている。昭和19年になぜ被害があったかなどから示すべきである。一般的にやっている案を出しているだけである。歴史的な背景も踏まえて提案をしてほしい。

経緯を踏まえた検討を求めるご意見

○事業のスピード感をどう考えているのか。今年も少しの雨で避難が必要になった。毎回避難している住民の恐怖感が伝わっているのか。時間軸をどう考えるか非常に大事。

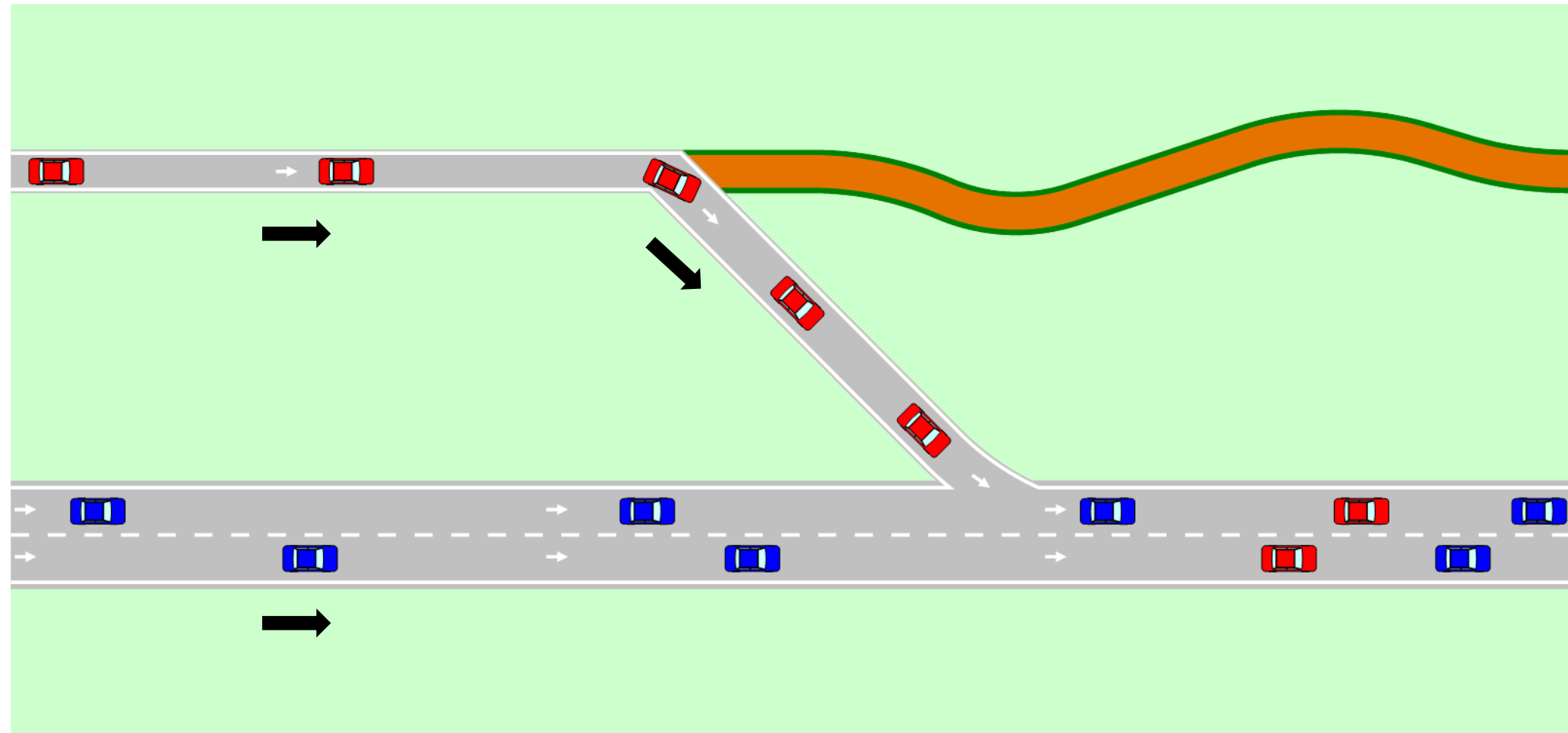
早期整備を求めるご意見

○昭和40年洪水の山田川は急流だったが、今回はバックウォーターでゆっくりだった。

過去の状況の情報提供

バックウォーターについて(イメージして頂くために)(1/6)

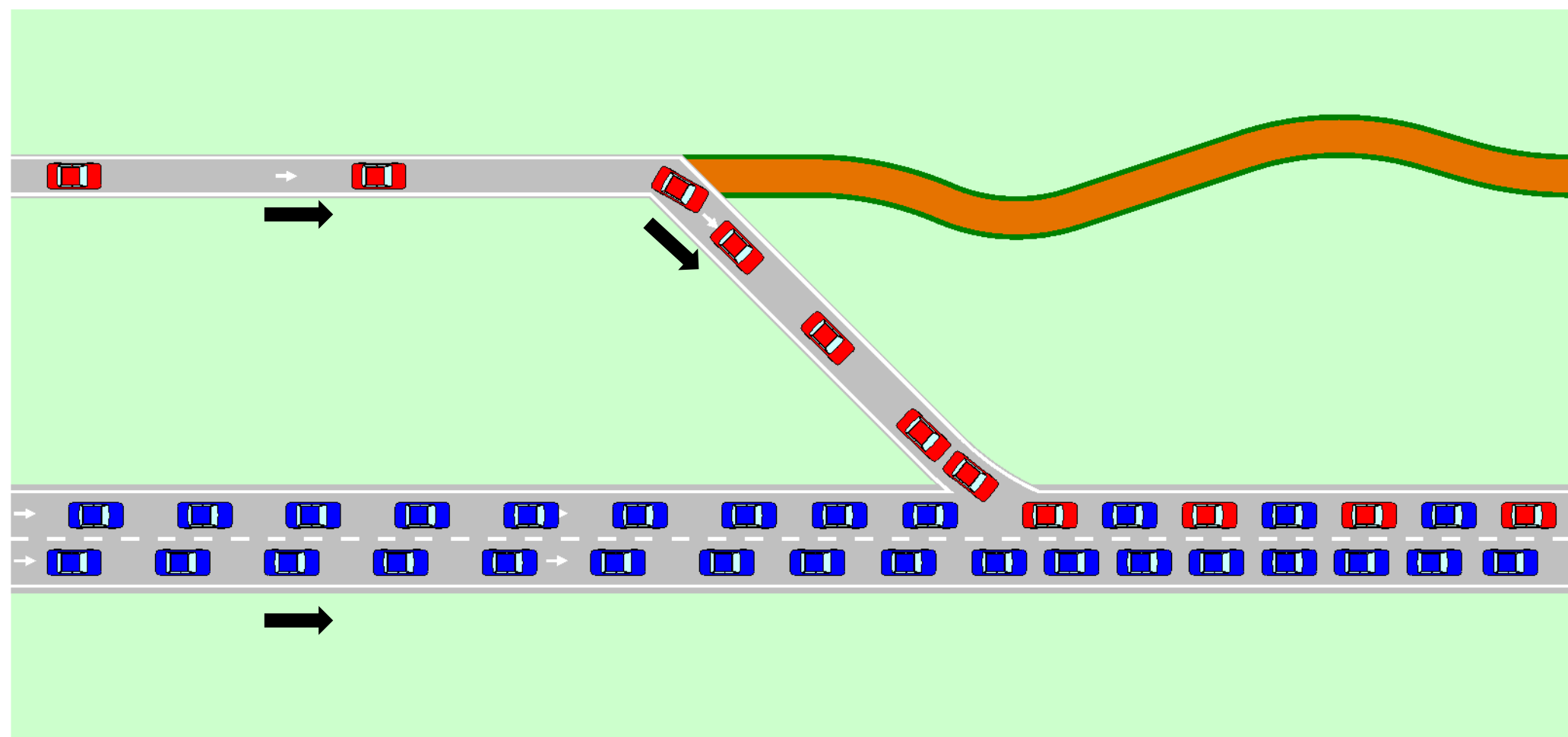
通常は一般道から高速道路への合流がスムーズに行える。



通常は本川と支川がスムーズに合流する。

バックウォーターについて(イメージして頂くために) (2/6)

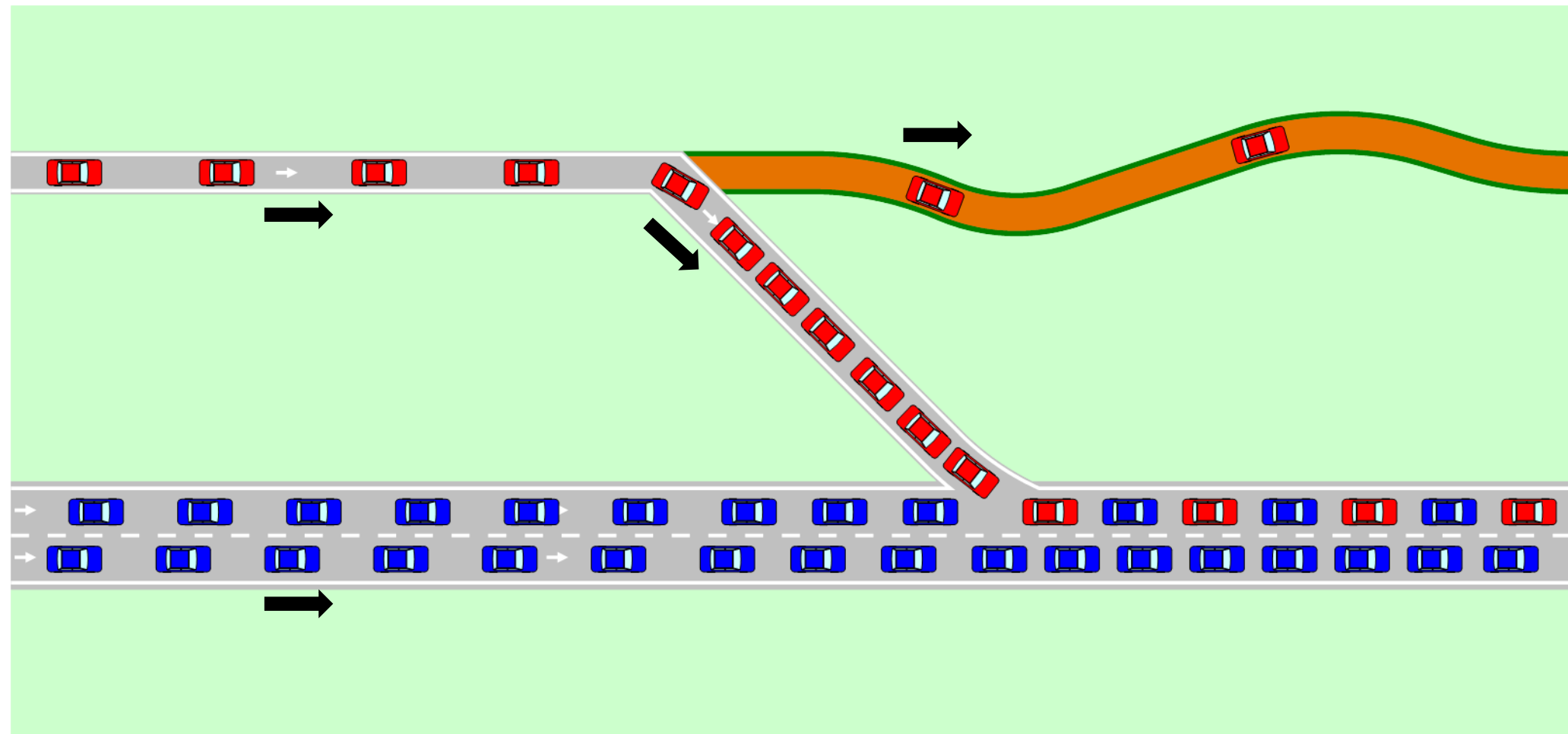
高速道路の交通量が多くなり混み始めると、合流できなくなり、一般道も渋滞する。



本川の流量が増え水位が上昇すると、支川の水位も上昇する。

バックウォーターについて(イメージして頂くために) (3/6)

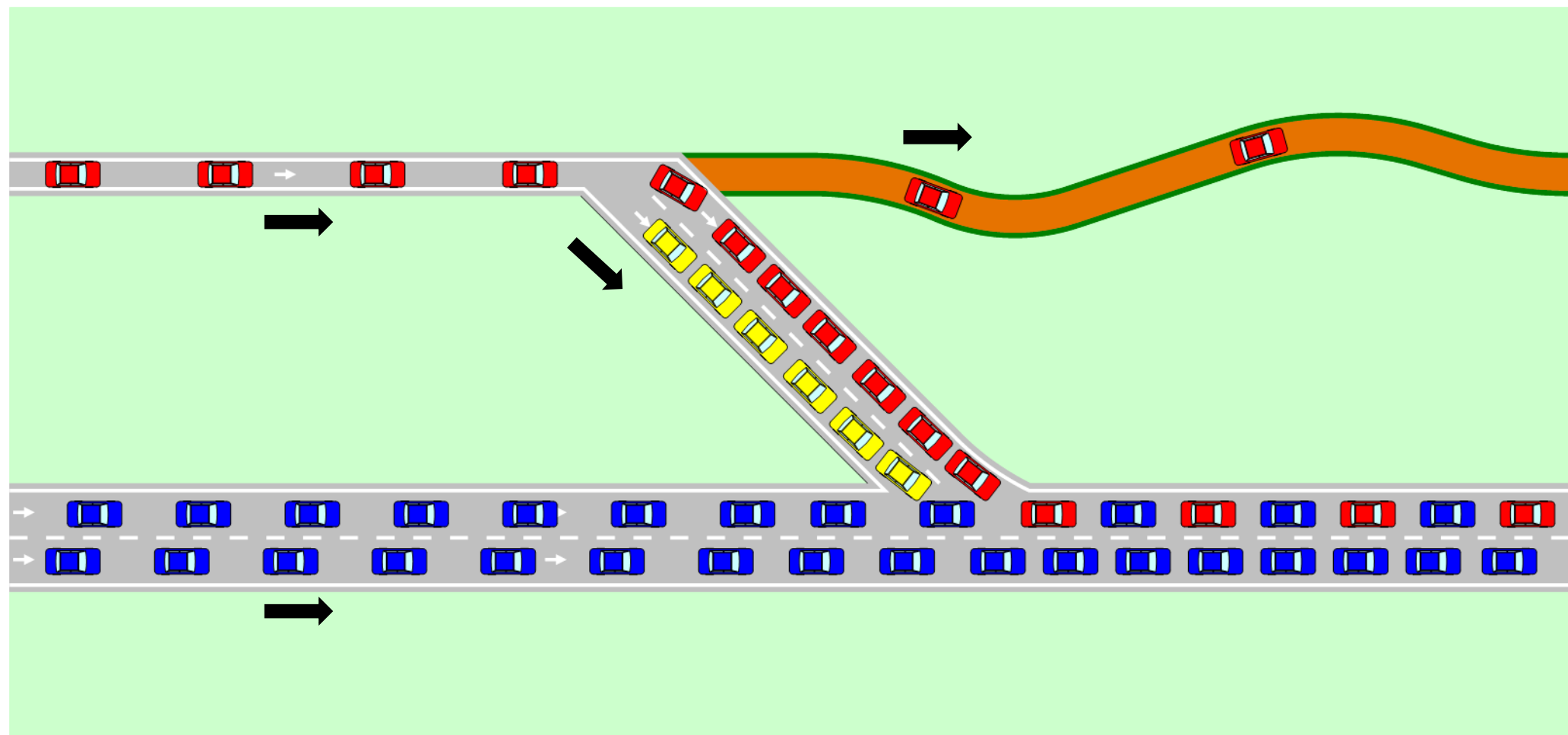
渋滞を回避するため、一般道へ迂回しようとする車両でてくる。



本川へ合流ができないため、越水し始める。

バックウォーターについて(イメージして頂くために) (4/6)

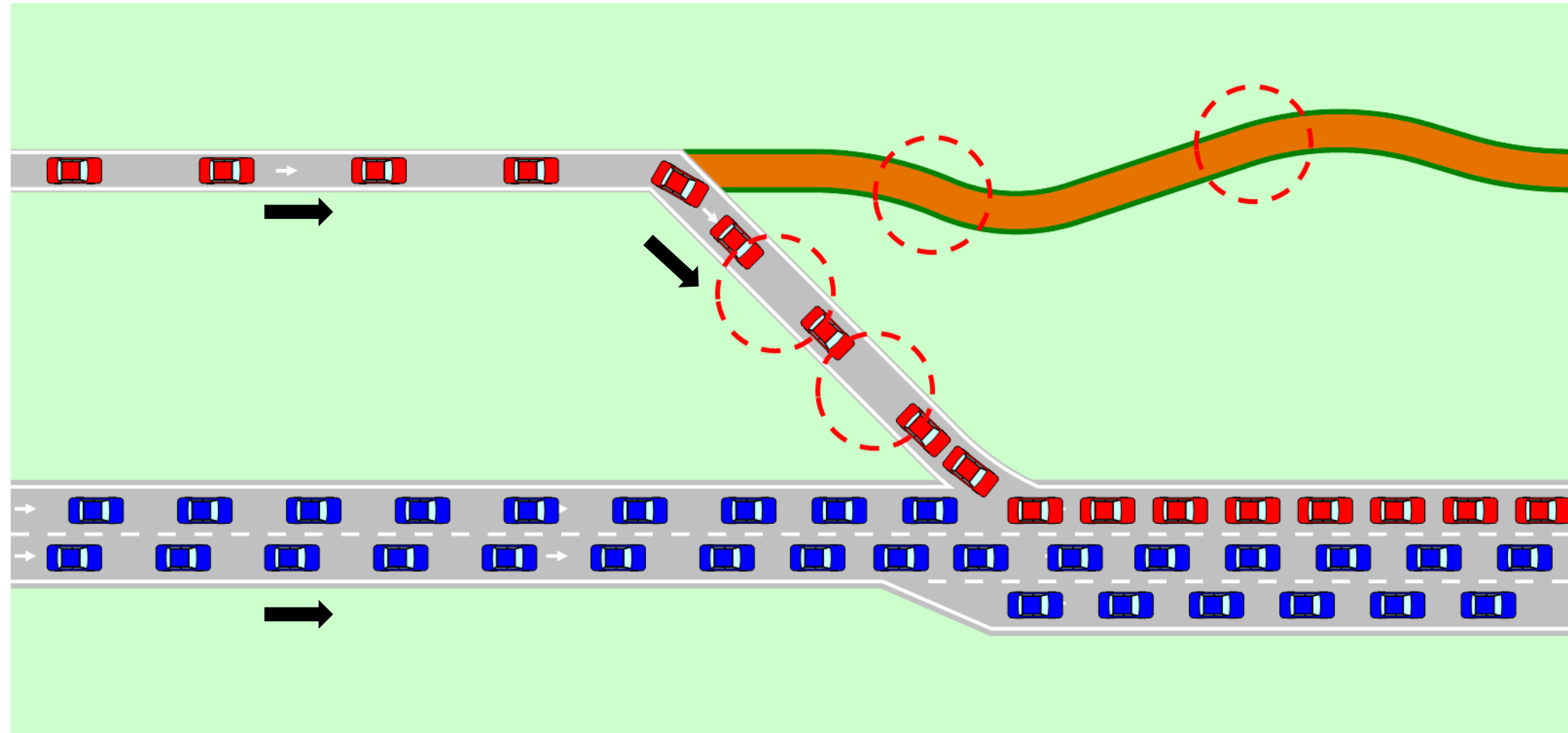
仮に、一般道を拡幅しても、渋滞は解消されず、迂回路へまわる。



支川の拡幅を行っても、本川への合流がスムーズにできないため、越水は解消できない。

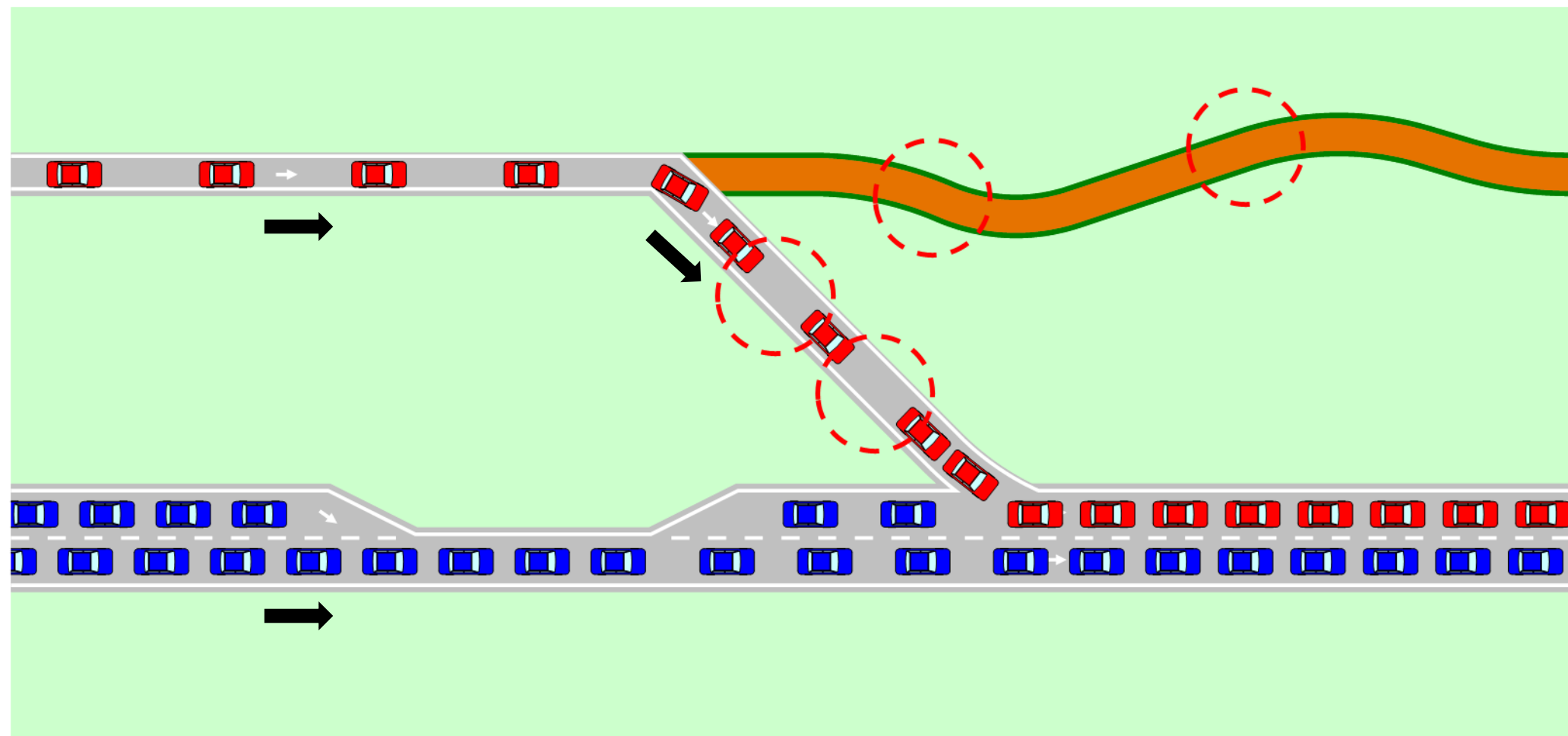
バックウォーターについて(イメージして頂くために) (5/6)

渋滞解消策①：高速道路の車線増設による、交通容量の増大。



本川の河道拡幅、河川掘削による流下能力の向上。

渋滞解消策②：高速道路の車線減少による、交通量のコントロール。



本川での貯留施設整備による、流量のコントロール。

山田川の被災状況



堤防、堤防強化についてのご意見

○現在の山田川堤防は、昭和19の水害を受けて、昭和32～33年頃に整備されたものだと思う。

現在の堤防の状況に関する情報提供

○山田川の堤防は老朽化しているのではないかと。スピードアップしないと、大変な被害が起きるのではないかと。急いで対応してほしい。

○堤防が強化されるのはいいことだ。

堤防強化を求めるご意見

○堤防を強化するという考え方より、川幅を拡げること、土砂を撤去するということを徹底するべきではないかと。堤防強化は切り札にはならない。

堤防強化より川幅の拡幅や土砂撤去を求めるご意見

川幅についてのご意見(1／2)

○現在の堤防整備に伴い、7～8m程川幅が狭くなった。管理道路や植栽部分を設けてまで、川幅を狭くする必要はないのではないか。五十鈴橋付近は昔と比べて10m程狭くなったと思う。

○断面が変わっていない。山田川の氾濫によって、被害を被っている。昭和40年、46年いずれもである。基本は川幅を変えてほしい。川は狭くなり、浅くなっている。五十鈴橋より上流部分から整備が必要ではないか。駒井田地区ではその対策をしないと被害を繰り返す。川に並行に道路が下りるようになっているが、河道断面を狭めるためやめるべきである。2倍は難しいと思うが、1.5倍程度までは川幅を広げるべきである。

川幅の拡大を求めるご意見

○山田川沿いの店舗は事業にかけてほしくない。

川幅の拡大を望まないご意見

川幅についてのご意見(2/2)

○川幅を拡げることが無理なら、少しでも嵩上げしてもらう。

堤防嵩上げのアイデア

○年配の客もいるので、護岸天端道路が高くなり店舗との間に段差や階段ができるのは困る。また、川側の車の出入りができなくなるのも困る。

町と堤防の高さの差に関するご意見

○堤防を上げるのではなく、川底を掘り下げた方がいい。昔は川底が低かった。

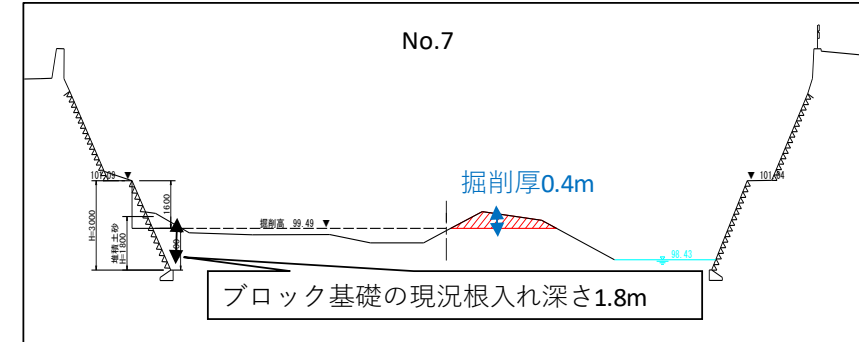
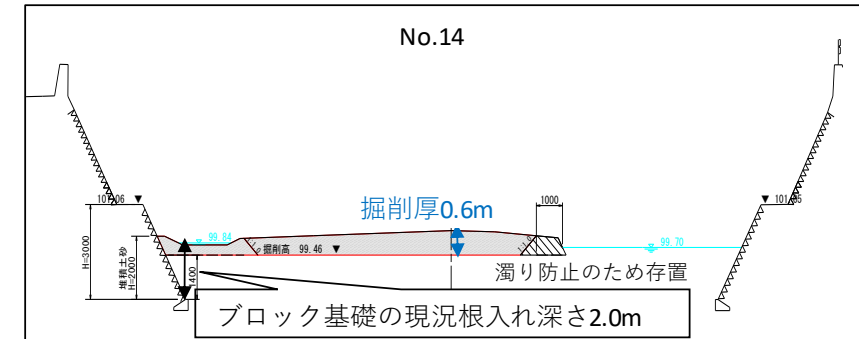
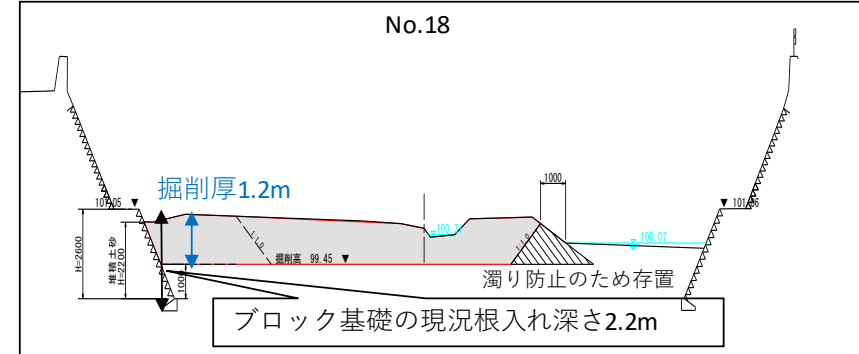
河床掘削を求めるご意見

河床掘削や土砂撤去についてのご意見

- 山田川の壊れた堤防の真横に住んでいる。土砂が堆積し、雑草が生えている。ボヤ騒ぎが起きたこともある。川底が浅いので、水位も早く上がるのではないかと。以前はもっと深い川だった。土砂撤去が必要。
- 地区別懇談会などで、堤防のことではなく、土砂をとってほしいと言ってきた。市は「国、県に伝える」という回答で終わっていた。延べ何百回も同じような意見を聞いているが、県にその声は届いていたのか。
- 今まで山田川の堆積土砂を定期的に撤去していなかったのが問題である。
- 35年ほど前は毎年ブルドーザーが来て土砂をとっていたが、なぜ今はやっていないのか。川の深さも2～3mあり、飛び込んで遊んだり、鰻をとったりしていた。土砂をとらなくなったことが原因ではないか。

掘削を求めるご意見

堆積土砂掘削計画について



土砂についてのご意見

○上流に砂防ダムをつくって、土砂流入を防ぐことも必要では。

山田川の上流から流れてくる土砂に関するご意見

○球磨川が山田川の流れを損なう。左岸と右岸で整備の違いがある。左岸の堆積土砂の撤去をすることで山田川もスムーズに流せるのではないか。

○川底を狭くすることで流速を早くするということを考えられていたが、堆積がひどくなるだけである。渡が典型的な失敗の例である。この案だけでなく、本流の問題も含めて、同時に提案してくれないと何も議論できない。総合的な対応を考えてほしい。

○球磨川と山田川の合流点の所に導流堤を造り、山田川の下流域の水の容量を多くすることと、常に堆積土砂を撤去すること。

○本流が山田川の出口を止めないようにするべきである。中川原公園も影響するのではないか。

山田川の下流、球磨川本川との関係についてのご意見

流域治水についてのご意見

- 山江村を抜きにしては考えられないため、村長や町民にも参加していただき、話をしたい。
- 昔は遊水地もあった。どこかに遊水地を持たないといけないのではないかな。
- 球磨川沿いの下流では遊水地候補地の意思確認をしている状態であると聞いている。山田川沿いで遊水地を検討する余地はあるか。

様々なアドバイス

その他のご意見

- 強制排水(九日町ポンプ場)の修理は終わっているか。

町に溜まった水の排水を心配するご意見

- 溢れることを悪としないような心構えで、まちづくりをしてほしい。

まちづくりについてのご意見

- 鬼木川はきれいな小川だったが、現在は3面セメントで固めて直線にしている。誰がいつ直線にし、コンクリートで固めたのか。自然のものは壊さないように整備をしてほしい。流域全体を含めて考える必要がある。鬼木川は誰が整備したのかは後日教えてほしい。
- コンクリートで覆ったことで、水の逃げ場がなくなる。コンクリートは景観もよくない。まちづくりはその部分も議論するべきである。
- 護岸天端がパラペットまで高くなったら、景観も悪くなるし、敷地も狭くなる。堤防側から出入りが出来ないと困る。

景観を重視するご意見

親水性についてのご意見

○山田川に遊歩道を設置しても誰も歩かない。上流の鶴田橋直下のような広い小段を整備し、桜を植えるなどすればいいかもしれないが。

あまり期待されないご意見

○店舗が川沿いに向かって、光が並ぶ街並みが大事。

店舗と川の一体的な空間に期待するご意見

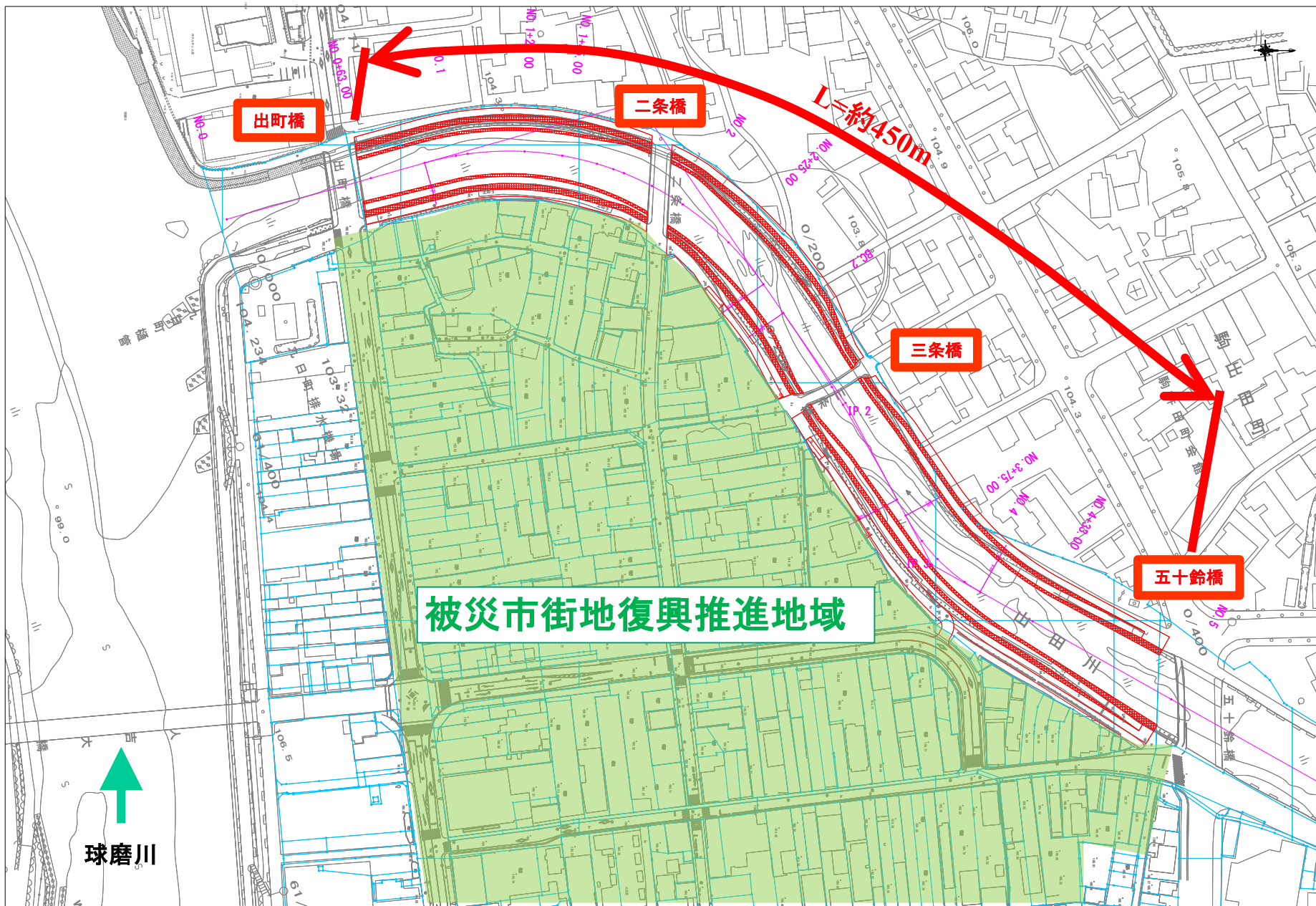
○もともと親水域をつくるような地域ではない。上流の鶴田町一帯でいい。広場や階段を造るより、治水を第一に、よりスムーズに水が流れるような対策を取るべき。

親水よりも治水を優先するべきというご意見

○どうしても堤防を上げる必要があるなら、移設も検討せざるを得ないか。補償金というより、適切な代替地があるかどうかが重要。

治水整備での移転に関するご意見

検討区間について(出町橋～五十鈴橋)



整備断面イメージ(二条橋～三条橋区間)

緑の流域治水
集水域(森林、水田 等)との連携

<凡例>

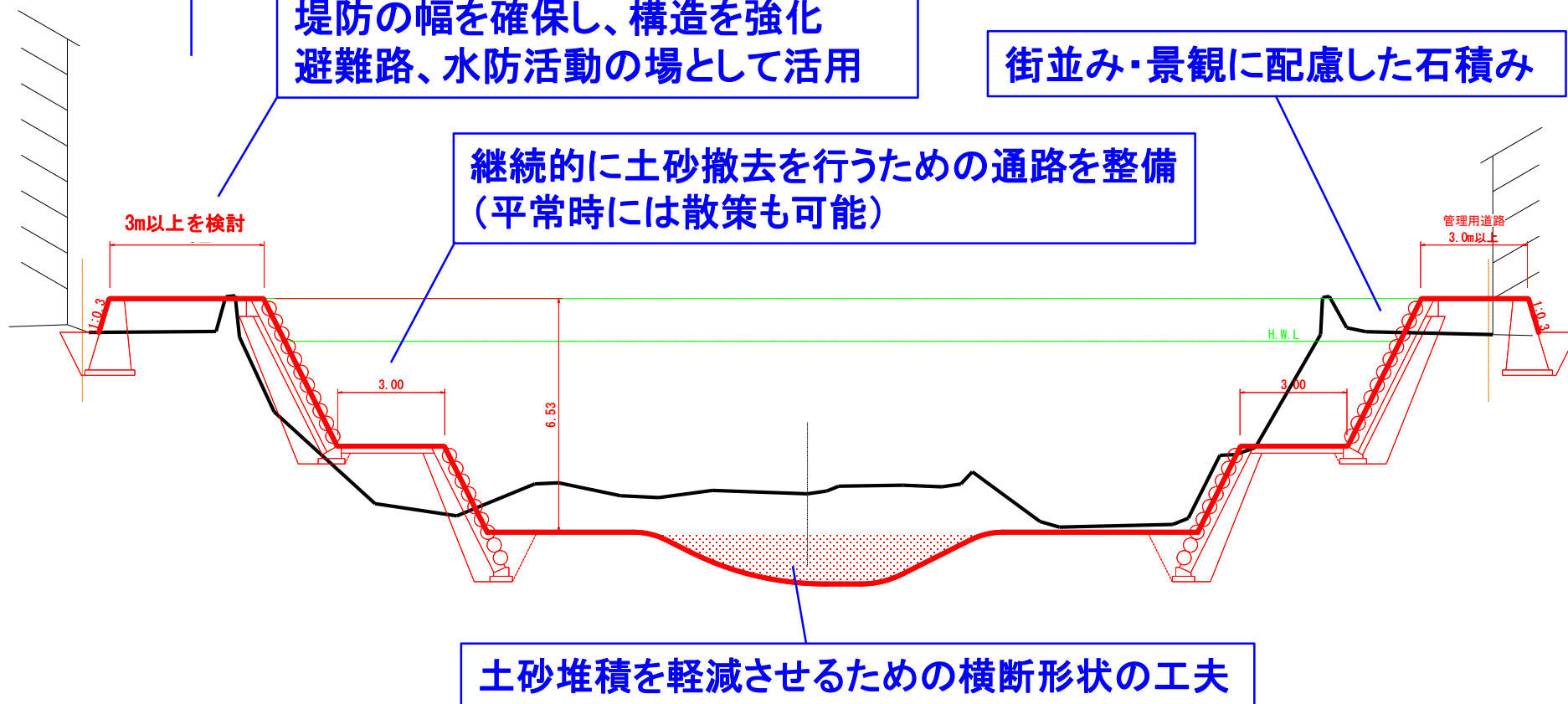
黒線: 現況
赤線: 計画

川へのアクセスを確保するまちづくりと一体となった整備

堤防の幅を確保し、構造を強化
避難路、水防活動の場として活用

街並み・景観に配慮した石積み

継続的に土砂撤去を行うための通路を整備
(平常時には散策も可能)



土砂堆積を軽減させるための横断形状の工夫